

事務事業評価表(既存事業)

コード 7-1-3	事務事業名 プレイリーダーの養成事業	所管部課 児童青少年部子育て支援課					
事務事業の概要	事務事業の目的 西東京市の地域にこだわった、子どもの遊びの支援者を育成すること。	総合計画上の位置づけ (政策)創造性の育つまちづくり (施策)子ども参加の促進(創2-1) (主要施策)青少年育成活動の支援					
	実施内容、実施方法 市内在住者で各種団体(育成会、ふれあいクラブ、親父の会、青少年会議所等)に参加し「子育て」支援に関わっている方、及び「子育て」支援に興味・関心がある方で、講座終了後にプレイリーダー活動に参加する意志のある方。	根拠法令等					
	事業開始時期 平成 16 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他( )					
評価指標の設定	活動指標名 開設講座数	活動指標の考え方(定義) 市がプレイリーダー養成等の為に開催した講座数					
	成果指標名 講座受講者数	成果指標の考え方(定義) 講座受講者の人数(目標10人)					
事務事業データ		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
	事業費(A)		0	0	400	286	
	国庫支出金	千円					
	都支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源				400	286	
	所要人員(B)	人			0.10	0.10	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	0	833	833	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	0	0	1,233	1,119	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(講座受講者数)	千円	0	0	64.88		
	歳入	千円					
	活動指標	目標値	講座			4	4
		実績値	講座			4	
活動指標	目標値						
	実績値						
成果指標	目標値	人			40	40	
	実績値	人			19		
成果指標	目標値						
	実績値						
事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	参加者から実地研修や救急救命講習も必要であるとの意見がある。 プレイリーダーとしての基準を設ける必要性がある。					
	国・都・他市・民間等 における類似事業	特になし。 プレイパークを設置している自治体においては、管理・運営をNPO等に委託しているところが多い。					
	運営上の制約条件・ 外部要因等	人材の資質 活動の場					

コード 7-1-3	事務事業名 プレイリーダーの養成事業	所管部課 児童青少年部子育て支援課
--------------	-----------------------	----------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	西東京市にはプレイパークもなく、「プレイリーダーとは何か」を考えるとところから始めたため、実際の活動には至っていない。今後は実際に活動した場合に備えての、より多くの講習や実地研修が必要である。
	必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 増大 <input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	市の子育て支援計画の一つであるため、さらに「西東京市を理解し、活動できるプレイリーダー」を育成していく必要がある。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input type="checkbox"/> 問題なし <input checked="" type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	今後プレイリーダーを増やすには、その育成のために講座を増やす必要がある。またその講座は座学ではなく、実際の西東京市のフィールドを使ったものが好ましい。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	「子育て」支援に関わっている方、及び「子育て」支援に興味・関心のある方が参加対象者であるので問題はない。
	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	地域で子どもの育ちを支える仕組みをつくるため、多くの有志の参加が必要である。

17年度における改善点	16年度に開催した「プレイリーダーを考える」セミナー参加者により、セミナーの検証として「いこいの森公園」において親子を対象とした遊びのイベントを開催予定。 講座、基準づくり等について検討中
-------------	---

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	引き続き地域における子どもの育ちを支える仕組みづくりを行う。
--------	---	--------------------------------

評価の視点

- 実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など
- 必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など
- 効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など
- 公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など
- 総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。
  - 拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。
  - 継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。
  - 改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。
  - 抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。
  - 廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。